

令和4年(2022年) 9月9日(金) 13960号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankinzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



**鉛建値は3,000円引き上げの33万9,000円
 9月の月内建値平均は33万8,300円**

三菱マテリアルは8日、電気鉛建値を3,000円引き上げの33万9,000円にすると発表、同日より実施した。9月の月内建値平均は33万8,300円。

8日に入電した直近のLME鉛相場前場売値は1,895.00ドル。8日の東京市場の米ドルTTSレートは145.48円。

この値で換算した採算価格は、27万5,600円。建値と採算価格から見た諸掛りは6万3,400円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2022年

4月	357(1)	360(11)	375(19)	372(25)	平均364.5
5月	357(2)	339(11)	327(19)		平均337.1
6月	342(1)	357(8)	336(16)		平均343.1
7月	324(1)	333(8)	330(14)	336(25)	平均330.6
8月	336(1)	345(8)	339(24)		平均340.7
9月	336(1)	339(8)			平均338.3

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



電子材料生産実績6月

4か月連続前年割れの90%

J E I T A

一般社団法人電子情報技術産業協会(綱川智会長)がこのほど発表した6月分の電子材料生産実績によると、誘電体セラミックスの世界生産量は、電極材料の重量指数が302、前年同月比は90%で、3月から4か連続の前年割れとなった。

今年は2月に308、104%とプラスに転じたが、3月に286、83%となり、その後も前年割れが続いている。

2021年1月から12月まで、重量指数は291(9月)から378(7月)までの範囲で、また同比は106%(12月)から160%(7月)までの間で推移してきたが、今年1月には重量指数、同比とも縮減した。

誘電体セラミックス電極材料は、銀・パラジウム・銀パラ・ニッケルの合計重量で、2002年の月平

均値を100とした指数。2010年4月からは積層セラミックコンデンサ用に限定している。

**電気亜鉛・蒸留亜鉛販売
 亜鉛ドロス・滓買入**

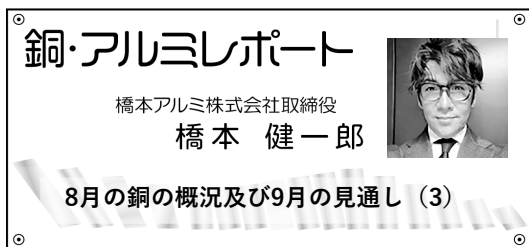
大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 **林 昭宏**

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3
 電話 06-6471-2531~5
 FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5
 電話 03-3618-2351~2

製品区分	4月		5月		6月		2022年累計 (1-6月)	
	重量 (指数)	前年 同月比	重量 (指数)	前年 同月比	重量 (指数)	前年 同月比	重量 (指数)	前年 同月比
誘電体セラミックス 電極材料	302	84%	306	92%	302	90%	296	90%



■国内概況まとめ

【自動車】

【自動車生産】

生産動態統計によると7月の自動車生産台数は前年比-4.5%の65万7,940台。

輸出は前年同月比-5.1%の33万1,959台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると8月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-13.3%の17万9,075台。

内訳は乗用車が-13.1%、貨物が-20.2%、バスは-19.2%。

【住宅着工戸数】

7月の新設住宅着工は、貸家は増加したが、持家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比5.4%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比2.4%の減少となった。

【伸銅品生産】

銅糸は、前年同月比5ヶ月連続のプラス。伸び率も二けたパーセントまで上がっているが、それでも上海での部品生産の遅れから部品不足が続き、設備投資関連などへの需要が伸びて来ない。電力向けブスバーが緩やかな回復基調を続けている。

黄銅棒は、同比7ヶ月連続マイナスで、マイナス幅が拡大した。住宅設備機器関連はリフォーム向けを中心に緩やかに回復基調続く。ガス機器は、部品不足の問題が解消し、需要回復してきた。ただ、上海ロックダウンの解消後も中国家電向けについて調子が戻ってこない、会員企業からの情報がある。

【見通し】

【自動車】

7月の自動車生産が-4.5%。8月国内販売台数が前年比-5.1%。8か月連続生産、販売共に大幅減少。

長らく世界的な半導体不足や新型コロナウイルスの感染拡大による影響や工場や一部仕入先での感染者発生、豪雨被害などによる部品供給遅延も影響しており来月も回復は難しい。

【伸銅品生産】

7月伸銅品生産量は6万4,030トン、前年同月比2.9%減少した。7か月連続のマイナスとなった。それでも引き続きマイナス幅が小さく、昨年並みの生産量を継続している。伸銅品の需要は、引き続き半導体向けを中心に好調をけん引している。しかし、上海のロックダウンの影響が解消された後も、中国国内の生産や物流の混乱の影響を引きずっている。

自動車向けの需要だが、各品目とも会員企業よりこれまでの在庫積み上げが完了したとの情報が入ってきている。自動車の部品在庫の積み上げが進んだため減少が始まるか？

【電線】

前年比-4.7%の5万2,300t。内訳は国内-4.9%輸出が+0.5%。輸出の伸びが鈍化。今後マイナスに転ずるか可能性も。

【銅輸入】

財務省の貿易統計によると、2022年7月の日本からの銅スクラップ輸出量は2万6,548トンだった。前月は、8か月ぶりの3万トンを超えたが、再び2万トン台に戻した。しかし、前年同月比11.4%増加し、13ヶ月ぶりに前年同月実績を上回った。

銅スクラップの主要な輸出先全てにおいて、昨年より輸出量を大きく減らしている。例えば、マレーシアや香港向けが5割減、タイや韓国向けが3割減、台湾向けに至っては7割減である。しかし、そうした中、日本からの銅スクラップの最大輸出先である中国向けだけは、ほぼ昨年並みの数パーセントの微減に留まっている。

【スクラップ景況予想】

流通【一次問屋】在庫は今月銅建値が111万から117万と高値安定だった。

前月に続きコロナによる生産減からのスクラップ発生減により出物が無く在庫薄。

需要面に関して上海ロックダウンによる中国の部品調達の遅れからの自動車生産、販売の大幅減少傾向があるが伸銅品に関しては一部品目でリモートワーク需要減による需要減はあるもの全体としては旺盛。

自動車関連向け製品の在庫積み上げが完了したとの報告もありやや需給が緩む可能性あり。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①米欧の金融政策

②中国のコロナ対策(ロックダウン)の動向

①に関しては、米国に関して引き締め一辺倒であったFRBだがここにきて米金融当局による政策の引き締め度合いに関する織り込みが後退9月に関しては若干利上げ幅が後退するのではないか。ECB(欧州)も8月のユーロ圏消費者物価指数(HICP)速報値は前年比上昇率が9.1%と、前月の8.9%から加速し、前月に続いて過去最高を更新した。市場予想(9.0%)も上回ったことから0.75%の利上げをやるのではないか？

②に関しては、9月1日に四川省成都市(人口約2100万人)に新たに新たにロックダウンを行うと発表延長するとともに、4日から大規模コロナ検査の追加実施。

これらを踏まえた9月の銅価格は7,000-8,500ドル(セツル)との予想。

ドル円値は135円~145円(TTM)台を予測。銅建値に関しては99万-127万円程度と予測している。

(「8月の銅の概況及び9月の見通し」おわり)

線材 平均70円/Kg値上げ 約4年ぶり 10月3日から サンエツ金属

サンエツ金属株式会社(釣谷宏行社長)はこのほど、線材(黄銅線、りん青銅線、その他銅合金線全般)の販売価格を、10月3日受注分より、加重平均で70円/Kg程度値上げすると発表した。

上げ幅は材質や線径によって異なるが、おおむね60円/Kgから120円/Kgの範囲で、率にして地金を含む売上高(現状売上高平均1,300円/Kg程度)の5%強、また加工賃の2割(現状加工賃平均350円/Kg程度)に相当するとしている。

値上げ対象となる線材は、電気・電子機器や装飾品などに使用されるネジ・釘・リベット・接点などや、コネクタ端子導体のピン、ワイヤーカット放電加工機用電極線。

前回の値上げは2018年5月に発表したのが、2006年11月以来の約12年ぶりの値上げであったこともあり、加重平均で90円/Kg程度の上げ幅だった。

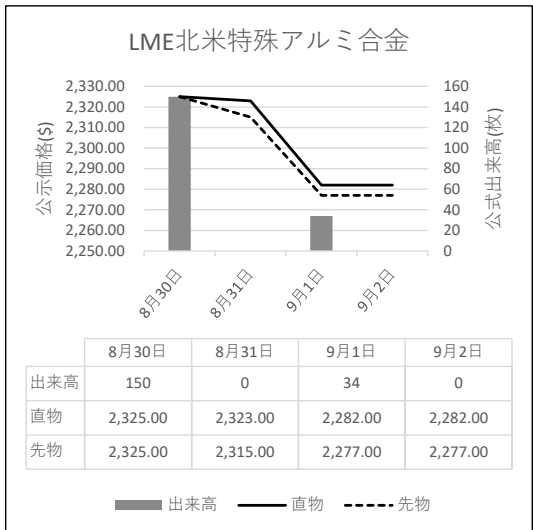
今回は、ここ数年のエネルギー費をはじめとするコストアップを価格転嫁するもので、ロシアのウクライナ侵略以降は「一層拍車がかかっている」としている。伸銅業界は一般に電気炉で溶解・鋳造を行っており、電気料金の高騰は製造コストの大幅アップに直結する。

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

株式会社 原田商店

代表取締役 原田靖章
〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30
TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

LME公式値週間推移 8月30日～9月2日(現地)



INCO/IGO マリ：Goulaminaリチウムプロジェクトでの初期作業開始

2022年8月31日付けメディアによると豪Perthで開催されたAfrica Downunder Conferenceにおいて、豪州証券取引所(ASX)上場の豪Leo Lithium社は、Goulaminaリチウムプロジェクトで初期作業が開始されたと発表した。

同社のSimon Hay MDは、Goulaminaプロジェクトの機械建設と電気設備の導入は2023年後半に開始、2024年前半に建設が完了し、2024年中頃に試運転を開始する予定で、約6か月間の立ち上げの後2025年にはフル生産になると語った。

プロジェクトは、2.3百万t/年規模のStage 1の開発に225mUS\$の初期投資を必要とし、506kt/年のスポットジュメン精鉱を生産する。

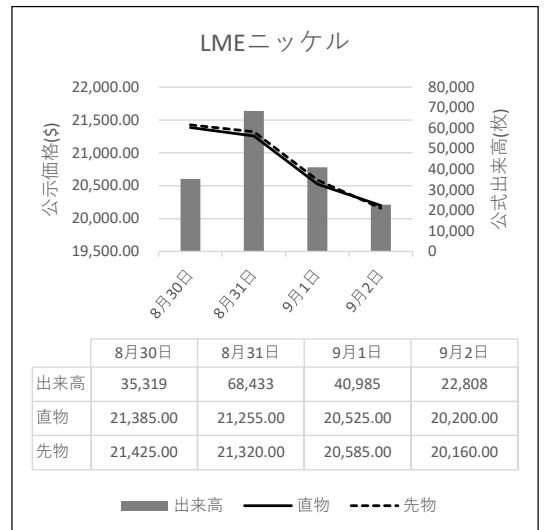
さらに70mUS\$の追加投資によりStage 2では生産量は880kt/年に増加すると推定される。

減摩合金・各種ハンダ 鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22
TEL 06-6561-3759(代表)



故銅市況

8日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の7,707.00ドルより23.00ドル高の7,730.00ドル。直物の終値は、前営業日の7,751.00ドルより52.50ドル安の7,698.50ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,651.00ドルより6.00ドル安の7,645.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の7,683.50ドルより60.50ドル安の7,622.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の12月限は、前営業日の346.20セントより3.15セント安の343.05セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の10月限は、前営業日の6万0,940元より30元高の6万0,970元。

8日の東京為替市場TTSレートは、前日の144.12円より1.36円の円安ドル高、1ドル=145.48円。8日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は7,730.00ドル。この値と8日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の114万8,000円より1万4,000円高の116万2,000円。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(9月7日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が894~899、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは859~864、並銅は824~834、込銅（高品位=約97%）は814、セパは677~682。コーベルは要り用筋で618、それ以外は603ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋628、それ以外598~608どころの値頃。並青銅鋳物削粉は721~726どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が874~894、上銅新しくが839~859、普通上銅が814~834、2号銅線が806~826、並銅が804~824、込銅(94-97%)が752、込銅(90-93%)が754、下銅が415~465、セパが642~677、コーベルが558~603、黄銅棒地が553~598、黄銅削粉が548~593、黄銅ラジが513~521、交叉ラジが469~526、黄銅鋳物が471~478、送りが282~301、上青銅鋳物が718~738、並青銅鋳物が698~713、上青銅鋳物削粉が713~733、並青銅鋳物削粉が688~708どころ。

アルミニウム二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区（9月前半）

2S=220円~240円、63S=204円~255円、アルミホイール(1P)=121円~235円、ビス付サッシ=87円~96円、エンジンコロ=110円~118円、込合金(機械鋳物)=93円~101円、缶プレス(ソフト)=66円~76円。

関西地区（9月前半）

2S=202円~205円、63S=205円~240円、印刷版=195円~198円、アルミホイール(1P)=186円~196円、ベースメタル=154円~158円、機械鋳物=96円~99円、ダライ粉=75円~78円、ビス付サッシ=73円~108円、缶プレス=83円~88円。

この日、電気銅建値は116万円に据え置かれた。

為替動向

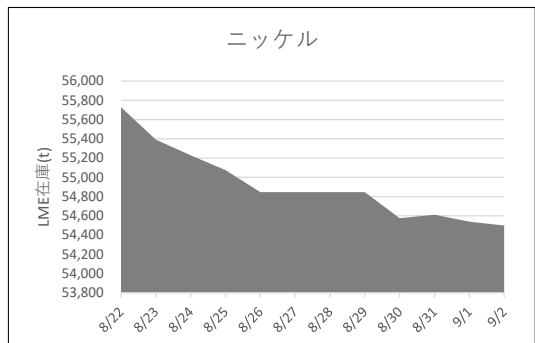
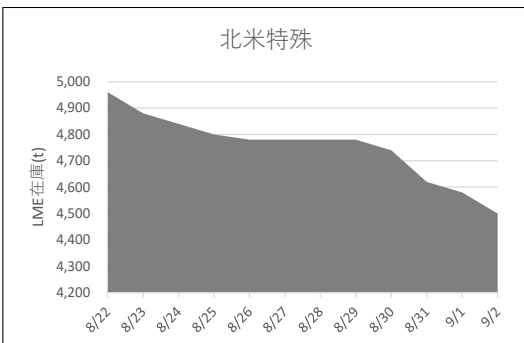
7日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0040ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=0.9940ドル~0.950ドルで推移した。

7日のニューヨーク外国為替市場で円相場は続落した。前日と比べ0.95円の円安ドル高、1ドル=143.70円~143.80円で取引を終えた。市場では、FRBが9月のFOMCで0.75%の利上げを決めるとの観測が出始めている。カナダ中銀も7日に0.75%の利上げを決め、ECBも0.75%利上げする公算が大きい。

8日早朝の東京外国為替市場でも円相場は下落。8時30分、前日17時と比べ0.37円の円安ドル高、1ドル=144.26円~144.28円で推移した。7日の海外市場で円相場は一時144.99円近辺と1998年8月以来およそ24年ぶりの安値を更新した。この日、カナダの中央銀行が0.75%の利上げを決めたほか、8日にはECBが利上げ幅を0.75%に拡大するとの見方が広がっており、FRBも9月のFOMCで0.75%の利上げに踏み切ると見られている。このような主要国の金融引き締めに対し日銀は大規模な金融緩和策を堅持する姿勢を崩しておらず、円売りドル買いが優勢になったほか、ユーロや豪ドルなど米ドル以外の通貨に対しても円は売られ、円相場を下押しした。

円は対ユーロでも下落。同じく1.38円の円安ユーロ高、1ユーロ=144.17円~144.20円で推移した。ECBの大幅利上げを意識した円売りユーロ買いが活発となった。

LME認定倉庫在庫量推移 8月22日~9月2日(現地)





LME銅相場はまちまち 直物終値は7,698.50ドル
 COMEX銅相場は反落 SHFE銅相場はまちまち
 LME非鉄相場は総じて軟調 錫直物は反落して約6%安



8日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、9月7日入電の7,707.00ドルより23.00ドル高の7,730.00ドル。3営業日の続伸で1.88%高。この週1.88%の上伸。9月に入って0.12%の上伸。3か月物の前場売値は、9月7日入電の7,651.00ドルより6.00ドル安の7,645.00ドル。3営業日ぶりの反落で0.08%安。この週1.70%の上伸。9月に入って0.73%の下落。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地9月6日の10万6,000トンより2,700トン減の10万3,300トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、9月限が、9月7日入電の346.90セントより3.10セント安の343.80セント。3営業日ぶりの反落で0.89%安。この週0.48%の上伸。9月に入って2.29%の下落。10月限は、9月7日入電の346.80セントより3.10セント安の343.70セント。3営業日ぶりの反落で0.89%安。この週0.47%の上伸。9月に入って2.33%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、9月限が、9月7日入電の6万1,390元より90元安の6万1,300元。3営業日ぶりの反落で0.15%安。この週1.83%の上伸。9月に入って1.87%の下落。中心限月に当たる10月限は、9月7日入電の6万0,940元より30元高の6万0,970元。3営業日の続伸で1.89%高。この週1.89%の上伸。9月に入って1.57%の下落。

錫は下落

LME錫相場の前場売値は、直物が、9月7日入電の2万1,750.00ドルより1,225.00ドル安の2万0,525.00ドル。反落して5.63%安。この週5.41%の下落。9月に入って13.03%の下落。3か月物の前場売値は、9月7日入電の2万1,500.00ドルより975.00ドル安の2万0,525.00ドル。2営業日の続落で5.41%安。この週3.41%の下落。9月に入って10.86%の下落。

LME公認倉庫の錫在庫は現地9月6日の4,610トンより5トン減の4,605トン。

鉛はまちまち

LME鉛相場の前場売値は、直物が、9月7日入電の1,895.00ドルより横ばいドルの1,895.00ドル。この週0.26%の上伸。9月に入って2.82%の下落。3か月物の前場売値は、9月7日入電の1,897.00ドルより6.00ドル安の1,891.00ドル。反落して0.32%安。この週0.27%の上伸。9月に入って3.03%の下落。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地9月6日の3万7,425トンよりトン減の3万7,425トン。

亜鉛は続落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、9月7日入電の3,217.00ドルより46.00ドル安の3,171.00ドル。2営業日の続落で2.88%安。この週0.84%の上伸。9月に入って10.42%の下落。3か月物の前場売値は、9月7日入電の3,166.00ドルより36.00ドル安の3,130.00ドル。2営業日の続落で2.61%安。この週0.77%の上伸。9月に入って9.41%の下落。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地9月6日の7万7,400トンより50トン減の7万7,350トン。

アルミも続落 アルミ合金は横ばい 北米特殊はまちまち

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、9月7日入電の2,260.00ドルより29.50ドル安の2,230.50ドル。3営業日の続落で3.40%安。この週3.40%の下落。9月に入って5.83%の下落。3か月物の前場売値は、9月7日入電の2,263.00ドルより25.00ドル安の2,238.00ドル。7営業日の続落で9.96%安。この週2.74%の下落。9月に入って5.05%の下落。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地9月6日の30万8,375トンより万1,125トン増の30万9,500トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、9月7日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。9月に入って横ばい。3か月物の前場売値は、9月7日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。9月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、9月7日入電の2,265.00ドルより18.00ドル安の2,247.00ドル。3営業日の続落で1.53%安。この週1.53%の下落。9月に入って3.27%の下落。3か月物の前場売値は、9月7日入電の2,265.00ドルより10.00ドル高の2,275.00ドル。上伸して0.44%高。この週0.09%の下落。9月に入って1.73%の下落。

ニッケルはまちまち

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、9月7日入電の2万1,355.00ドルより95.00ドル高の2万1,450.00ドル。3営業日の続伸で6.19%高。この週6.19%の上伸。9月に入って0.92%の上伸。3か月物の前場売値は、9月7日入電より横ばいの2万1,450.00ドル。この週6.40%の上伸。9月に入って0.61%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地9月6日の5万4,342トンより102トン減の5万4,240トン。

<https://nikkankinzoku.co.jp/>
 PW: nikkin202209

LME公示価格(US\$)／9月7日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	7,730.00	20,525.00	1,895.00	3,171.00	2,230.50	1,760.00	2,247.00	21,450.00
	前営業日比	23.00	▲ 1,225.00	0.00	▲ 46.00	▲ 29.50	0.00	▲ 18.00	95.00
先物	公示価格	7,645.00	20,525.00	1,891.00	3,130.00	2,238.00	1,760.00	2,275.00	21,450.00
	前営業日比	▲ 6.00	▲ 975.00	▲ 6.00	▲ 36.00	▲ 25.00	0.00	10.00	0.00

海外非鉄金属相場

(9月8日 入電・現地 9月7日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 9月限, 10月限, 11月限, 12月限, 1月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: ドル・円, TTS, 145.48, +1.36.

フリー・マーケット

米国生産者価格(地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 1815.0 (▲15.0), 1826.5 (17.5).

NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35 - 257.35, 353.35 - 357.35.

ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), etc. Values: 1702.65 (0.05), 13000 - 13500, etc.

KLTM錫(MYR/KG、出来高トン)

Table with columns: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ. Values: (7日), (8日), -, -, etc.

LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル. Values: 103,300 ▲2,700, 4,605 ▲5, etc.

上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 37,477 2,579, 204,063 ▲501, etc.

LMEプレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配. Rows: 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Values: (9/8), (3:00AM現地), 7,645.0 - 7,647.0, 20,840.0 - 21,035.0, etc.

上海相場

Table with columns: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 9月限, 10月限, 前日比, 出来高.

※8日のKLTMは取引がありません。

非鉄金属製品相場

(9月8日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1470	1405	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1520	1455	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	1600	1605	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	1650	1605	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	1560	1515	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	1380	1375	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1435	1420	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 30.5~32.4
銅線0.9ミリ	1460	1435	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 83.8~89.1
銅帯6×50	1390	1375	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 207~220
銅平角線	1660	1605	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1215	1200	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1580~1376
〃 0.3ミリ	1245	1230	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2430~2585
黄銅大板2×1×2	1365	1380	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4082~4340
黄銅管	1730	1680	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2566~2723
復水器用黄銅管	1700	1650	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3572~3791
黄銅棒快削25ミリ	1005	1030	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	1035	1060	貴金属(一般小口向け)			3C×2 125-128
四角棒	1065	1090	白金(グラム)		◎ 4510	4C×2 168-172
鍛造用	1045	1070	パラジウム(グラム)		◎ 10659	6C×2 237-243
ネーパル	1145	1170	金(グラム)		◎ 8807	7C×2 271-278
高力	1145	1170	銀(キログラム)		◎ 97900	合金鉄 7月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1390	1380	レアメタル輸入価格	7月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 274
黄銅平角線ロール仕上	1590	1590	金属ケイ素(99.99%未満)	470		〃 その他 367.2
黄銅条1.5×100	1210	1215	モリブデン酸化物	3929		フェロシリコン55%以上 344
リン青銅板一般用1.0ミリ	2520	2710	タンタル	62949		フェロクロム4%以上炭素含有 317.3
〃 バネ用0.3ミリ	2770	2970	マグネシウム	574		フェロモリブデン純分60%以上 4007
リン青銅棒25ミリ	2680	2890	コバルト	11130		フェロバナジウム 4218
リン青銅線3ミリ	2980	3190	インジウム	29633		フェロニッケル33%未満 995.7
洋白板一般用1.0ミリ	3530	3680				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3700	3860				

減摩合金	9月1日改定	銅合金地金	9月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4525	BC 1種	1215
2種	4400	2種	1535
3種	4270	3種	1615
4種	3760	6種	1295
5種	3595	7種	1425
7種	1320	YBSC 3種	1095
8種	1165	LBC 3種	1560
9種	995	PBC 2種	1635



https://home.nikkankinzoku.co.jp/

非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(9月8日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		41,000 ~ 43,000(1)	
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込					高値	安値	高値	安値
山元建値 電気銅 1160(7) 金 7,985(8)								
() 実施日 電気鉛 339(8) 銀 87,170(8)								
電気亜鉛 502(6) 錫(99.99%) 4,450(7)								
1号銅線 1038 1034 電気銅 ◎1128 ◎1123 ◎1130 ◎1125								
2号銅線 996 — 電気亜鉛 473 467 473 467								
上銅(新切) 1009 1002 蒸留亜鉛 461 455 461 455								
雑ナゲット 868 866 再生ダイカスト亜鉛2種 377 371 377 371								
並銅 951 931 再生亜鉛(98%) 322 316 322 316								
下銅 932 902 電気鉛 ◎311 ◎308 ◎311 ◎308								
銅削粉 926 905 再生鉛1号 ◎294 ◎284 ◎292 ◎287								
銅さい(30%) 25 25 再生鉛3号 ◎299 ◎295 ◎297 ◎293								
新切黄銅セバ 814 810 錫1号 ◎3200 ◎3150 ◎3200 ◎3150								
コーペル 781 768 アンチモン 1950 1900 1950 1900								
黄銅棒地 765 756 ニッケル(メッキ用) ◎3100 ◎3050 ◎3100 ◎3050								
黄銅削粉 759 752 コバルト 8600 8300 8600 8300								
並黄銅 635 631 セレニウム 3000 2800 3000 2800								
黄銅ラジエター 576 560 ビスマス 1350 1250 1350 1250								
交叉ラジエター 583 582 カドミウム 600 550 600 550								
黄銅鑄物 640 — マグネシウム合金 500 480 500 480								
山送り(55%) 370 — アルミ地金99.70% 368 364 370 366								
上青銅鑄物 806 — アルミ二次地金99% 305 300 305 300								
並青銅鑄物 804 786 // 90% 263 258 263 258								
上青銅鑄物削粉 799 — アルミ二次合金ADC12 417 412 420 415								
並青銅鑄物削粉 789 771 鑄物用 C2BS 442 437 444 439								
新切リン青銅(伸銅) — 1025 青銅合金地金3種 1580 1570 1620 1610								
// (鑄物) 920 — // 6種 1270 1260 1310 1300								
リン青銅削粉 838 822 ハンダ錫60% 3010 2970 3030 3000								
新切洋白(電子材) 850 829 // 50% 2600 2550 2620 2590								
新切亜鉛 253 253 // 40% 2250 2190 2205 2175								
ダイカストくず 218 218 減摩合金2種 4370 4340 4375 4345								
亜鉛ドロス 196 207 // 4種 3715 3690 3720 3690								
上鉛 140 138 // 7種 1250 1200 1250 1200								
電池素鉛ケース込 25 25 ステンレス・特金 18-8ステンレス 新切 75 75								
活字鉛 125 122 // ダライ粉 60 60								
新切アルミ1級 242 244 高耐食ステンレスSUS316 210 210								
新切サッシ1級 242 242 耐熱ステンレスSUS310 365 365								
新切合金1級 227 222 13クローム 新切 17 24								
機械鑄物1級 155 162 ハイス 9種 220 220								
ビス付サッシP 183 180								
合金削粉P 100 105								
込ガラP 95 97								
カン・バラ 160 161								

非鉄金属材料相場面

PW:nikkin202209